

英語コミュニケーション学科

1. 教育研究上の目的

英語コミュニケーション学科は、英語による高度なコミュニケーション能力を有し、豊かな国際的教養と論理的思考力を備え、国際・情報化社会で活躍する人材を育成することを目的とする。

2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学学則に定める期間在学し、所定の教育課程を履修して、以下に示す能力を身につけ、卒業に必要な単位を修得した者に「学士（英語コミュニケーション）」の学位を授与します。

[知識・理解]

1. 国際文化交流の現場で必要とされる実践的で高度な英語力を身につけている。
2. 日本文化や異文化の特質に関する広範な知識とすぐれた見識をそなえている。
3. 英語によるコミュニケーションに必要な学識を継承していくことができる。

[汎用的技能]

4. 学術上、社会生活上の問題の発見・分析・解決に必要な思考力・判断力・表現力を身につけている。
5. 現代社会において必要とされる情報コミュニケーションの技能を修得している。

[態度・志向性]

6. 多様な文化と相互理解を図ることができる広い視野をもっている。
7. 国際社会で活躍できる教養と品格をそなえている。
8. 諸文化の価値を認め、適切な敬意を払うことができる。

3. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

英語コミュニケーション学科では、国際共通語としての英語によるコミュニケーション能力を養うために、英語の「4技能」（読む、書く、聞く、話す）をバランスよく向上させ、アカデミック・レベルの諸能力を習得します。また、国際社会で活躍するための教養と日本文化を基軸とした異文化理解、論理的思考力を養うように専門科目群を体系的に編成しています。

1年次には、大学4年間の学習の動機付け、初年次の基礎能力の育成、問題発見・解決能力、自分の考えを伝える表現力を養うことを目的に、英語コミュニケーション基礎演習科目、英語コミュニケーション英語演習基礎科目、国際関係基礎科目群、地域文化系基礎科目群、英語圏文化基礎科目群を開講し、初年次教育の充実を図っています。また、専門科目や初年次教育の学習過程で修得した知識を世界に向けて的確に発信する国際的なコミュニケーション能力を培い、異文化理解を深めるために、国際文化交流学部共通科目として、国際共通語の英語（外国語科目1群）と他の主要な言語（同2群）、情報技術科目群、日本語表現法科目群、国際文化交流論科目群、人間・環境系科目群、スポーツ・健康科学科目群、国際文化交流演習科目群など、様々な分野の科

目を体系的に編成しています。

2年次に海外の講義などを英語で受講する「海外研修」（6か月間）と「Cultural Exchange」を設置し、国際文化交流の現場で必要とされる実践的で高度な英語力を身につけます。2年次以降は、他学科の専門科目群を設置します。

3・4年次には、英語コミュニケーション英語演習専門科目群、英語コミュニケーション専門演習科目群、英語コミュニケーション専門演習科目群特殊演習を編成します。

4年次に卒業論文、卒業研究等に取り組むことで、外国文化と国際情勢の知識を培い、国際社会で活躍できるスキルを身につけます。

4. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

（入学者に期待される資質・能力〔求める学生像〕）

国際文化交流学部は、学則にある本学および本学部の目的にもとづき、次のような人が入学することを期待します。

- 国際文化交流を通じて人類の平和と文化の発展に貢献しようと考えている人。
- 文化の多様性を尊重し、人間の尊厳を守ることのできる人。
- 幅広い教養と地球的視野を身につけ、自らの人生を切り拓こうとする人。
- 大学で学ぶために必要な論理的思考力、知識、語学力をもつ人。
- 他者と協働しながら主体的、積極的に学ぶことのできる人。

英語コミュニケーション学科は、学則にある本学科の目的および卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）にもとづき、特に次のような人が入学することを期待します。

- 英語による高度なコミュニケーション能力の習得と向上を目指し、あわせて国際教養と論理的思考力によって国際社会で活躍しようと考えている人。

以上